


# LCZAP シリーズ


振れ止め機構内蔵取付金具

取 扱 説 明 書

**AND** 株式会社 **エー・アンド・デイ**

## 注意事項の表記方法

 **警告** 「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合」について記述します。

 **注意** 「取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合」について記述します。

**お知らせ** 「取扱いを誤りやすい場合」や「本機を使用するときの一般的なアドバイス」について記述しています。

### ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りのエー・アンド・デイへご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

# 目次

はじめに-----	2
1. 概要-----	2
2. 特長-----	2
3. 設置にあたっての注意事項-----	3
3-1. ロードセルの組立-----	3
3-2. 振れ止め機構内蔵取付金具の設置-----	4
4. LCZAP にともなう計量器構造設計の注意事項-----	5
5. ロードセルと振れ止め金具の取付位置（例）-----	6
6. 外形寸法図-----	7

# はじめに

この度は、エー・アンド・デイの振れ止め機構内蔵取付金具（LCZAP シリーズ）をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、LCZAP シリーズについて書かれています。本機をご理解いただき、十分にご活用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。

## 1. 概要

LCZAP シリーズは、エー・アンド・デイの圧縮型ロードセルと組合せて使用する振れ止め機構内蔵取付金具です。

## 2. 特長

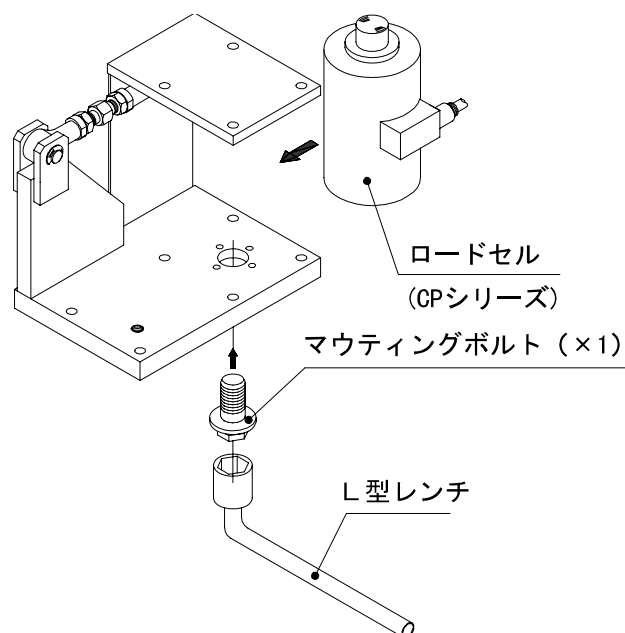
- (1) LCZAP は、ロードセルを簡単に取付けられて、X 軸方向（“6. 外形寸法図” 参照）に対しては、20kN の力に耐えることができるよう設計されています。
- (2) タンクやホッパの横揺れを防止し、温度変化等による伸縮をロードセルの精度に影響を与えない構造になっています。
- (3) 浮き上がり防止機構と組合せることにより、従来タンクやホッパから架台等にステーロッドを取付ける必要が無くなり、スペースを有効に活用でき、構造設計においてもコストダウンにつながります。

## 3. 設置にあたっての注意事項

### 3-1. ロードセルの組立

#### ⚠ 注意

- ケーブルを強く引っ張ったり、ケーブルを持ってロードセルを持ち上げないで下さい。
- ロードセルを落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。
- ロードセルに電流が流れないように、計量装置の電気溶接はロードセルを取付ける前に行うようにして下さい。
- ロードセルは LCZAP にボルトにて固定してからご使用下さい。取付ける際には、付属の専用マウンティングボルトを使用して取付けて下さい。(下図参照)



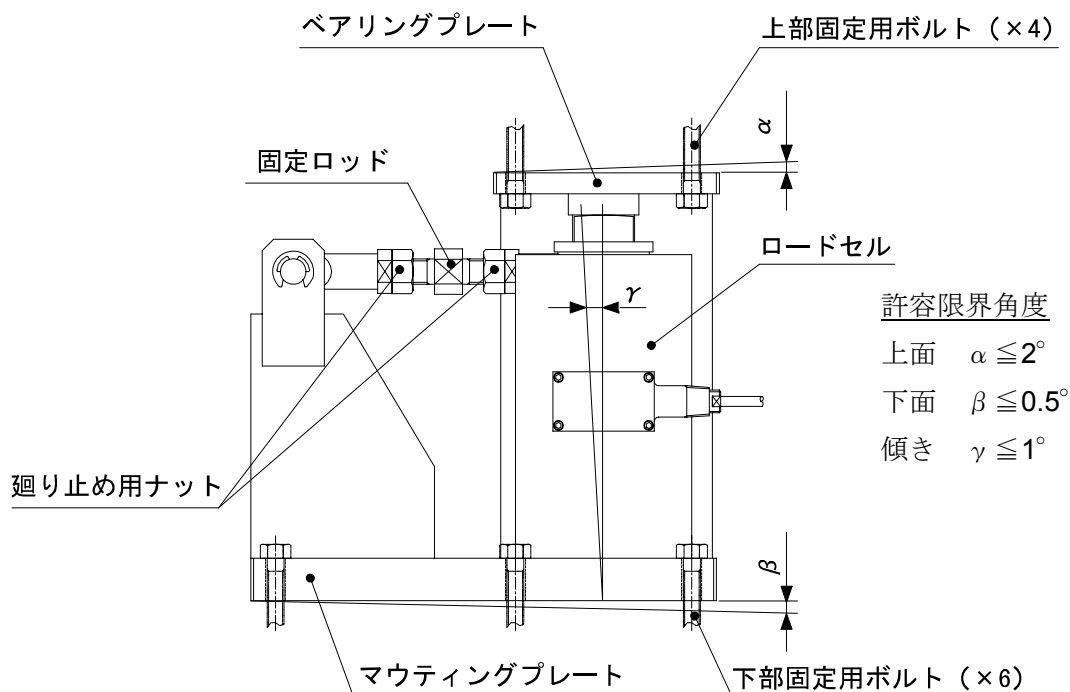
- 急激な温度変化は、計量精度に悪影響を与える場合があります。太陽・風・放射熱などによりロードセルを直接熱したり、冷やしたりしないためにカバー等の取付けをお勧めします。

## 3-2. 振れ止め機構内蔵取付金具の設置

- (1) ベアリングプレートとマウティングプレートが垂直・水平になるよう計量器に取付けて下さい。(許容限界は、下図の通りです。)

### ⚠ 注意

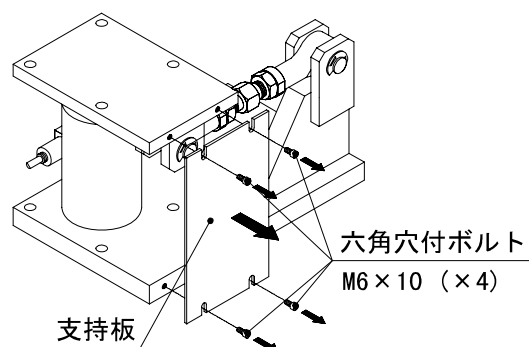
固定ロッドは調整済みとなっておりますので、調整は行わないで下さい。



- (2) LCZAP を計量器に固定するための使用ボルト本数は、ベアリングプレート側 4 本、マウティングプレート側 6 本で固定して下さい。(固定用ボルトサイズは、機種によって異なりますので“6. 外形寸法図”でご確認下さい。)

- (3) 計量器に取付けましたら、再度垂直・水平を確認後、支持板を取り外します。(右図参照)

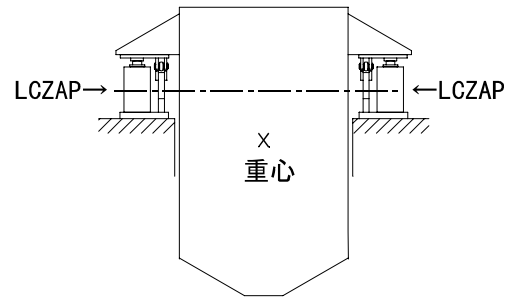
- (4) 4 点支持の場合は、浮上がっている箇所が無い、極端な偏りが無いことを確認して下さい。浮上がっている箇所があれば、シム板を入れて調整を行って下さい。調整範囲としては、基本的に個々のロードセルに均等に荷重がかかる事が望ましいですが、基準として、ひょう量の 20% 以内のバラツキに入るよう調整を行って下さい。確認方法としては、ロードセル個々の出力電圧をテスター等を用いてバラツキの確認を行って下さい。



## 4. LCZAP にもなう計量器構造設計の注意事項

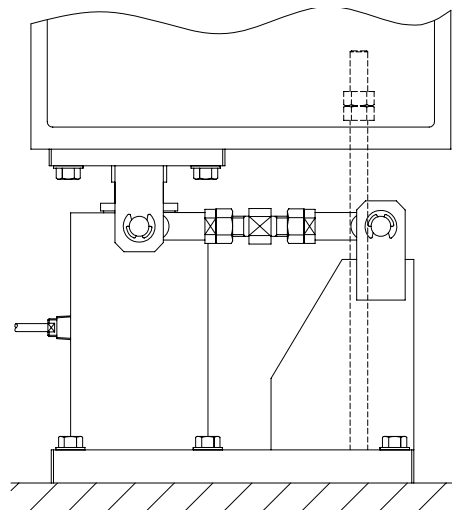
### お知らせ

LCZAP の計量器への設置位置は、計量物重心より高い位置に据え付けることを推奨します。(右図参照)



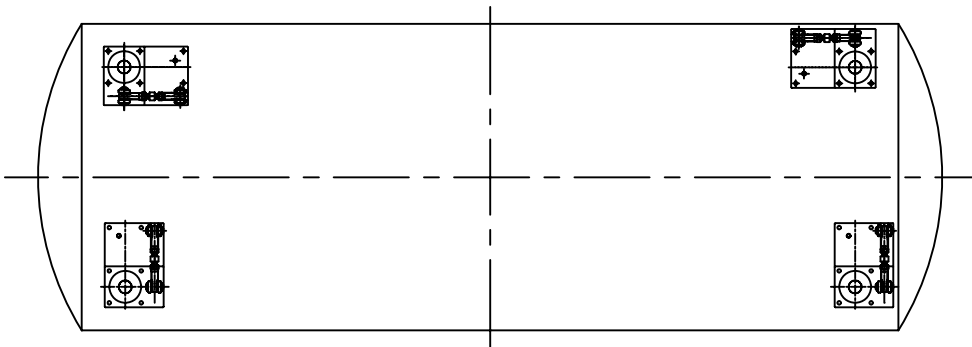
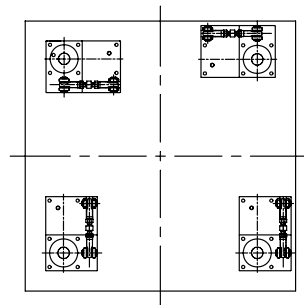
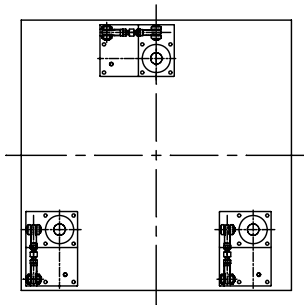
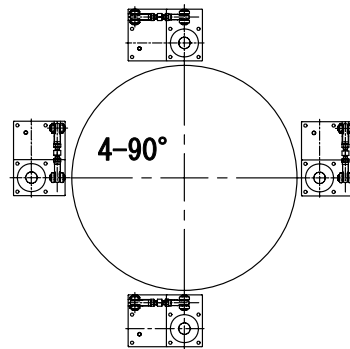
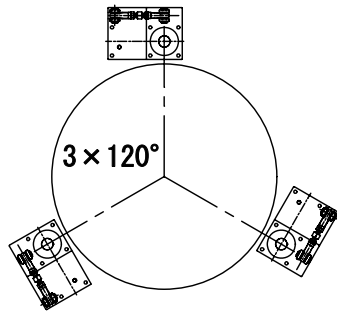
### ⚠ 注意

計量器は、地震や風圧等によって浮上りが生じ転倒する恐れがあります。計量器には、必ず転倒防止対策を行って下さい。(下図参照)



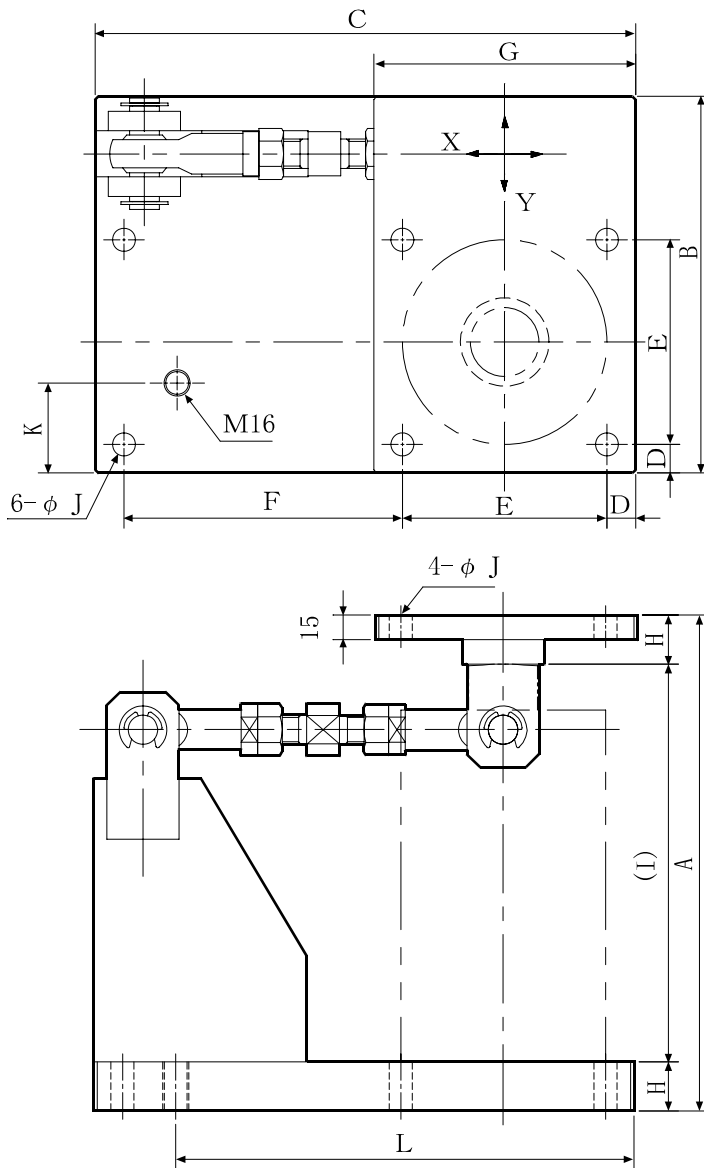
浮上がり防止対策例

## 5. ロードセルと振れ止め金具の取付位置（例）





## 6. 外形寸法図



型式	質量 (kg)
LCZAP0405 LCZAP1405	12
LCZAP0408 LCZAP1408	20
LCZAP0411 LCZAP1411	30
LCZAP0412 LCZAP1412	40

注) LCZAP のみの質量(ロードセル含まず)

型式	A	B	C	D	E	F	G	H	(I)	J	K	L	適用ロードセル
LCZAP0405 LCZAP1405	154	170	300	11.5	77	200	100	15	124	8	25	250	CP-200L,300L,500L,1 CP-200L, 300L, 500L, 1-FP
LCZAP0408 LCZAP1408	213	200	315	12.5	105	185	130	23	167	12	40	265	CP-2, 3, 5 CP-2, 3, 5-FP
LCZAP0411 LCZAP1411	303	230	330	17.5	125	170	160	30	243	14	55	280	CP-10 CP-10-FP
LCZAP0412 LCZAP1412	380	270	350	25	150	150	200	30	320	14	75	300	CP-20 CP-20-FP

(単位 : mm)